

ぼくのノオト

⑥9 その男のように

「そなたにあずかってもらいたいものがある」。真田幸村の父、昌幸が依頼したものは、好まぬ武将へ嫁がされようとする娘であった。「おあずかりしましょう」。こともなげに言ったのは、権力におもねることなく自由に諸国を旅する牢人、滝川三九郎。

公儀からの言いがかりで家を奪取されても、こたわることなく「昔に戻るだけのことよ、首がつながったわ」と、三九郎は笑っていた。何一つ欲がなく、立身出世を願うわけでもないのだから、どのような逆境に突き落とされても平気なのだ。川水の流れのように、己のさだめに逆らうことなく、それでいて、自分を捨てず意思を通した男。最後のさだめに残した言葉は、「束の間の一生にしては、いささか長すぎたようだが、いまこそ天地の塵となるぞよ」

滝川三九郎は、いまでも『真田太平記』（池波正太郎著）の中で生きている。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時（受付は30分前）／土・日・祝日休診